

卷之三

# 葵会総合ケアステーション

訪問看護TEL 075-495-2241  
居宅支援TEL 075-495-5678

〒603-8206 京都市北区紫竹西

通所介護 TEL075-495-2588  
1803-8206 球都市北区紫竹四南町 63-34

2022年後期 INQUIRIES

卷之三

卷八

無礼月の日記

組みひもで体を左右に大きく動かして



住み慣れたこの場所から、共同組織の輪を広げて！

2023年が始まりました。昨年も新しい友の会会員さんを迎えて、今宮公園での健康づくりや作品展等を取り組みました。また介護を良くする署名をたくさんの方々にご協力いただき、国会に届けることが出来ました。本当にありがとうございました。

赤らやんがら高齢者まで、いつも元気に笑顔で過ごすことが、共同組織のまちづくりの目標でもあります。私たちの命や暮らしに直結する国会の審議も見過ごすことはできません。今年は3年に1度の介護保険制度の改定に向けた準備の年でもあります。介護事業を担う私たちにとっても正念場です。今後とも皆様のご理解とご協力をいっそう賜りますよう、よろしくお願いいたします。

美云總經理ヨシモト一司職員一同

私たちの理念

1. 私たちは、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。また利用者を介護される方の負担の軽減を図ることにより、利用者が居宅での生活を維持できるように支援します。
  2. 私たちは、利用者に対して親切丁寧、公平を絶えず心がけ、常に利用者とその家族の立場を理解して、利用者の安全と信頼をえられるよう、言動に注意をはらいながら業務を遂行します。
  3. 私たちは、前記基本理念を実践する立場に立ち、諸規定に定めた各条項を遵守するとともに、法人の指示、通達に従い職場秩序を維持し誠実にその職場に従事し、責任を遂行します。

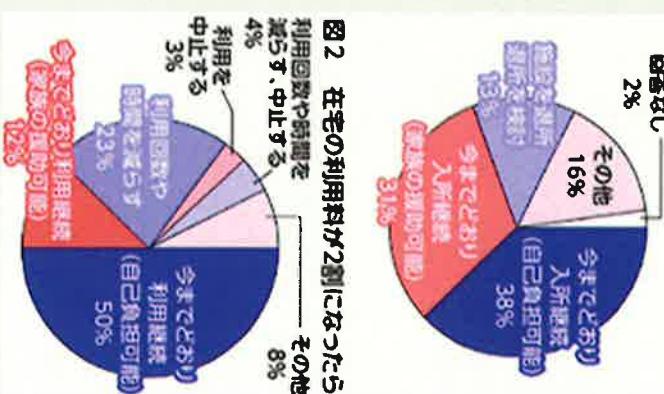
# いのち、暮らしを搖るがす

## 介護保険制度の改悪にモノ申す

2000 年に始まった介護保険制度ですが、度重なる改定で利用の制限に拍車が止まらない状況となっています。2024 年は 3 年に 1 回の改定の年で、その中身は負担増が目白押しです(表1)。私たちが加盟する全日本民医連では、9-10 月に 1 割負担の利用者を対象に、緊急調査を実施しました(図1.2)

(表1)政府が検討中の改悪メニュー

- (1)高所得者の介護保険料の引き上げ
- (2)利用料 2 割負担(一定以上所得)の対象者の拡大
  - 利用料 3 割負担(現役並所得)の対象者の拡大
- (3)多床室での室料徴収を老人保健施設等に拡大
- (4)補足給付の資産要件に不動産を加える
- (5)ケアプランの有料化
- (6)要介護 1.2 の生活援助等を「総合事業」に移行
- (7)被保険者・受給者範囲の見直し



\*表1の(1)–(3)の赤文字項目は次期計画(2024年)に向けて結論を出すとしています。それ以外は改定時期を先延ばしされました。

## 利用者、家族の声を国会に届けて・・私たちが聞き取ったアンケートより抽出

- ・年金が上がつていればよいが、下がる一方で、物価は上がる。もう死んだ方がましや。もう死にたいわ、いつまで生きてるんやろう(92歳女性)
- ・毎月の介護保険料の負担が開始当初の倍になっているにも関わらず、更に負担が増えることに愕然としている。国は財源がない、ないというが、財源の使い道の問題だと思う。私たちは日々の生活を切り詰め、介護サービスも切り詰めなければならない状況なのに、国葬で簡単に税金を使う感覚が理解できない(75歳女性)
- ・介護保険制度は良くなることはなく、悪くなるばかり。早く死ねたらいいけどそういう訳にもいかない(94歳女性)



千本北大路で宣伝署名行動に参加

## 介護署名の一斉行動に参加しました

昨年 11 月 13 日(日)京都全域で、介護保険制度の改悪を許さない、介護職員の処遇改善の声をあげるために、それぞれの地域で宣伝行動を行いました。

葵会は 40 名の職員が千本北大路周辺で宣伝を行いました。雨の中でしたが署名は 65 筆集まりました。今年 1 月末には京都全体で 12961 筆、葵会で 3363 筆を集め、国会に届けました。ご協力いただきありがとうございました。



雨の中、介護現場から力強く訴えた職員

# 75歳以上の医療費2倍は、 国民の命と健康を脅かします

2022年10月より、75歳以上の方で収入が単身で200万円以上の方、複数世帯で合計320万円以上の方の医療費が2割負担となりました。

コロナ禍、年金削減、物価高と経済的負担が増えている中、医療費が増えることは、さらなる経済的負担を強いることになります。

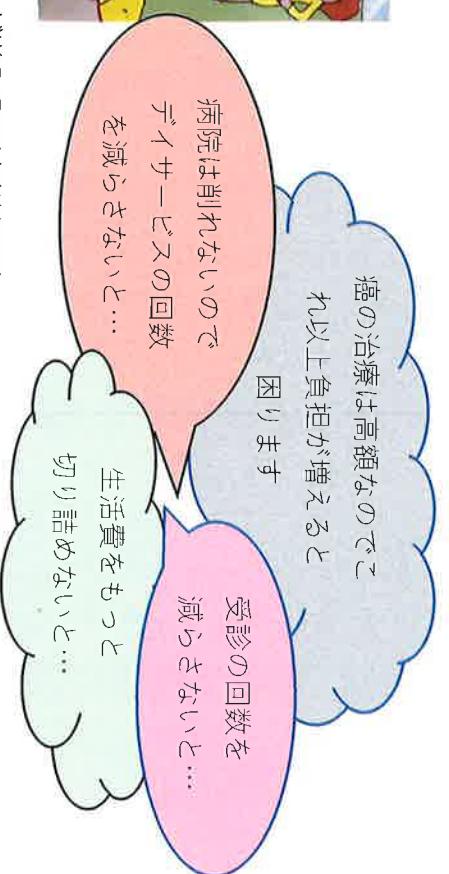
医療費が増えたことにより、訪問看護の利用者様や家族様、また地域の方々から、以下のようないいを聞いています。



高齢になれば、医療を必要とする機会が増えるのは当然です。

医療費を切り詰めて、受診を我慢すれば、命を失うことになります。

医療を受けることは、憲法で保障された権利（受療権）です。お金がないことで医療が受けられることは、絶対にあってはならないことです。（訪問看護：田中 秀隆）



葬儀会のケアマネジャー（以下、ケアマネ）の後継者育成と、部署を超えての交流、研修企画を目的として、2022年度より「ケアマネ政策交流会」を開催しています。5月の交流会では、県連理事会で承認を受けて冊子となつた「ケアマネジャー政策」について講義を受け、ケアマネの醍醐味や普段の業務内容について意見交換をしました。



9月には、ケアマネ試験受験者を励ますとともに、国が求めているケアマネ像と民医連が目指すケアマネの役割について学び、交流しました。「他部署のケアマネと自由に語る機会は今までなかったので新鮮だった」「同法人のケアマネが交流、学び合える機会として継続してほしい」という感想が寄せられました。法人の介護事業の連携の要であるケアマネが、互いに顔を合わせて交流し、学び合う機会として、これからも継続していきたいと思います。

（ケアマネジャー：木村 万由子）

# 伝えたいたいものがある・冬の作品展開催

2022年12/6～12/12にたいへん、1階のサロンにて利用者さんや地域の会員さんが取り組んだ作品を展示しました。

< やすらいはなや >

毎年4月第二日曜日に、今宮神社で行われている行事。町内を周り、人が傘の中に入り病気払いを行っていく。最後に今宮神社に戻り、傘の中の厄を払うとの事。ご本人は、子供の頃から絵画好きでしたが、仕事として生計を立てるのは困難なため趣味で楽しんでいます。この作品は、20年前、病気になる前の作品。じつと絵をご覧いただくと「心」の字がなぞるそうで、今でも好きな絵や短歌を楽しめています。



一人で部屋にいたら、つまらん事ばかり浮かぶから、好きな手芸で指を動かしていきます。  
ホントは誰かとお話しできる方がうれしいなあ～。

絵を書くのは小学生以来で、今は子供に帰った気分で楽しい。12色の色鉛筆を重ね塗りし自由に描くと、想像を超えた作品が出来上がり面白いですよ。



心のこもった作品がずらり（作品展から抜粋）



(12)  
「平和飞葉、守アレ等アレ物事モヌタセテシトトク難い  
事アリ」内務省は續アフカニスクレア往來のため  
スランダアレ運動アリテ、日本は獨當カヒ金聲主ムハ  
セシム。外國ノ官吏皆此の坐りの言葉アリ。地  
球上では今存の理不成立事件が解釈コトアリ  
且、朝鮮の外國領民事件アリ。日本は道主アリ。口  
戦争ヘ、近畿に逃了子供莫チビ、止モア止モア33日間圓  
大久保たち、孝の福アリ。いよしたか、賤遇ハ中で  
満足アリ。メロ音アリ。今の大切さ王様アリ。开祖ア  
ムセシハアリ。余都御院は24回之、7月27。

^ 平和二十一 <

沖縄辺野古・大浦湾の写真を現地沖縄からお借りして展示しました。基地建設反対。



平和の願い、歌で綴る軍国少女の道  
～未来の日本が  
戦争の無い国でありますように～



# 天候にめぐまれた神無月の会・笑顔・笑顔・笑顔



昨年10月18日の土曜日、秋の定例行事である神無月の会を、今宮公園で開催しました。動くと少し汗ばむほど晴天のもと、職員含め26名の参加。コロナの感染対策をしっかり行い、時間は一時間以内。内容は、くみひもを利用して全身のストレッチ体操と〇×クイズを行いました。帰りには、恒例のお饅頭を持って帰って頂きました。（写真左：今宮公園で足の体操）

短時間でしたが、会員さんも職員も一緒になって楽しむことができ、笑顔あふれる企画となりました。会員さんからは「またみんなに会えて良かつた」「体が軽くなったわ」などの声をたくさん聞き、毎年続けていくことが大切だと感じました。（ケアマネジャー：藤田 光里）



## 健康で住み続(ナ)られる街づくりめざし

### 全職員で共同組織強化発展月間に取り組みました

毎年10月から11月末まで、全国の民主医療機関連合会に加盟する事業所で、共同組織の強化月間が取り組れます。担当の職員で相談し、「全職員1回は行動に参加しよう」と呼びかけました。期間中4回の地域行動を計画し、20名の会員と、4部の「いつでも元気」誌拡大を目指達成しました。

訪問すると歓迎して家の中まで招いて下さる方、一旦お退会されてしまいましたが、改めて介護サービスを通じて関わり始めた元会員さんの再入会など、様々なうれしい出来事がありました。地域へ出ることで、コロナ禍でも友の会の取り組みを楽しみにしてくださっていることや、期待が大きいことを実感しました。職員一同、地域の方々から元気をいただく行動となりました。

（訪問看護：是恒 千鶴子）



（写真右：会員さんをサッマイモに、いつでも元気をモグラに見立てて、楽しく仲間増やしに取り組んでいます。）

# 地域の声を法人に届けて

生活サポート  
ネット・葵

## 2年目がスタート



この1年、地域の介護事業所や病院への訪問、事業所や地域の方々へのアンケート活動など、葵会に対する要望や意見を聞く場をたくさん作ってきました。無料低額診療の普及のためポスターを作成し、訪問先での掲示をお願いしています。葵会の事業所と地域の事業所をつなぐワークショップを開催するなど、初めての取り組みにも挑戦してきました。



サポートネットを開設した昨年10月は新型コロナウイルス感染症の第5波が落ち着いた頃でしたが、多くの医療・介護事業所が影響を受けました。それから波を3つ越え、現在第8波を迎えています。今後も葵会の事業の継続発展と健康で住み続けられるまちづくりを目指して、地域の事業所との懇談や職員の研修や交流等新たな企画を考えていきたいと思います。

無料低額診療の案内ポスターを地域に張りめぐらし、一人でも多くの方が利用していただけることを目指しています。家の壁に貼ってもいいよという方がありましたら、ぜひご連絡ください。(葵会法人 075-441-4724 河合 隆志)



## 新しい仲間が増えました～職員のご紹介～



葵会デイサービスに

2月からお世話になっています。楽しく笑ってお話しすることが好きです。よろしくお願いします。

昨年の8月に葵会に戻つてまいりました。葵の郷デイケアに加え、11月から訪問看護でも勤務することになりました。ご利用者やご家族により添った看護ができるよう頑張りたいと思います。

クマガイ エリ

熊谷 恵理(デイサービス)



福崎 朝美(訪問看護)

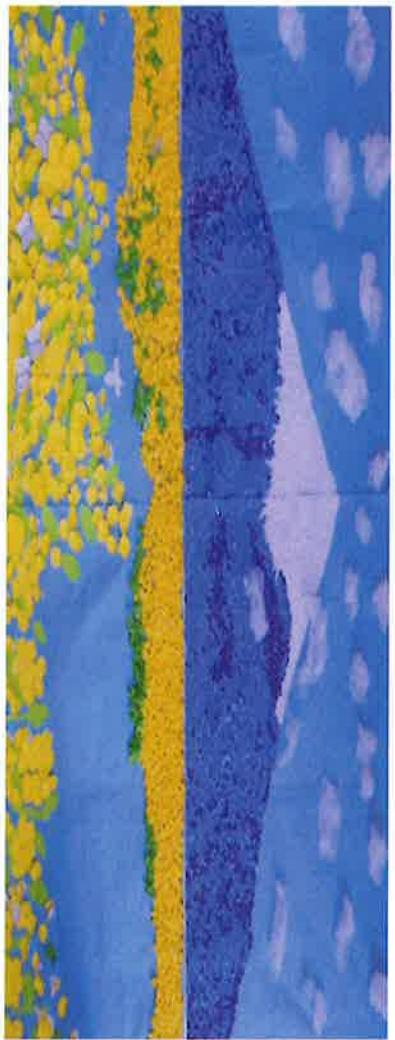
# 美会ディおたより



ここには、美会ディサービスです。利用者のみなさんが、また来たいと思っていただけるディサービスにしたいと心掛けています。温かいお風呂に入つていただき、作品づくりやゲームをしながら、楽しく過ごしていただけたらと思っています。



## 『春の富士山』壁一面に菜の花が咲き誇っています(^~^)



力を使わせて  
利用者様と  
交流しません。

大黒天  
ちぎり絵  
です



### ～雛段飾りの豆知識～

同じ作品でも、  
作り手によって  
個性がありますね

～和柄の折り紙でお雛様作り～



古来は左が上位とされたため、京都ではひな壇から見て左に男雛、右に女雛を飾ります。なぜか関東では逆に配置します。その由来は、明治以降に歐米の影響を受け、天皇と皇后の立ち位置が変わったことで、雛壇の飾り方も影響を受けたからだとか。